神奈川県議会議員

脇（わき）れい子

かながわ未来県議団　議会報告　２０２５年秋号

だれひとりとり残さないともに生きる神奈川へ

当事者の目線に立った取組の強化を

今年５月に川崎市でストーカー被害を訴えていた女性の尊い命が失われるという事件が明らかになりました。

県は、ストーカー被害やDV被害にあわれている方々に対し、当事者の目線に立ち、どのような支援ができるのか、どのような課題があるのかを県民の皆様と一緒に考えるため、緊急シンポジウムを６月６日に開催。登壇者からは、警察と行政の連携強化や、どこに相談をしてもワンストップでつながる仕組みの構築等の指摘がありました。

９月４日県警察は、今回のストーカー事案等に関する警察の対応についての検証結果等報告書を公表。「被害者やその親族等の安全確保を最優先とした人身安全関連事案の迅速かつ的確な対処が徹底されるよう、組織一丸となり再発防止対策に取り組んでいく所存である」とまとめています。

今回の事件で見えた課題として

- 当事者が思っていることと、警察の受け止め方のギャップがある。
- 警察と行政や関係機関の情報共有が不十分である。
- 安全の確保とともに、本人の意思を尊重して保護することが重要である。
- 一時保護所以外にも、安全を守る居場所が必要である。
- いろいろな相談機関で何度も同じ説明を求められるのは被害者の負担が大きい。
- 行政の相談窓口や、一時保護などの支援の仕組みが知られていない。
- 加害者が治療プログラムなどにつながる仕組みがない。等があげられます。

県は、課題解決に向け１０月１日に共生推進本部室にＤＶ・ストーカー被害対策担当課長を新たに配置し、警察本部からの派遣職員や局内関係部署の職員を迎えて「DV・ストーカー対応強化特別チーム」を発足。推進体制を強化するとしました。

本来であれば、このような事件が起きることがないよう、ストーカーやDV被害者の視点にたった実効性のある取組みがとられていなければならなかったのですが、事件後に対応の立て直し、強化となったことは残念です。

今回の事件を教訓に、二度とこのような事件が起きないよう、相談窓口や支援の仕組みを県民にしっかりと周知すること。また、相談や支援を迷いながらも訴えてくる当事者も多くいます。被害を受けている当事者に寄り添い、命を守ること、安全の確保を最優先にしっかりと取組みことを求めます。

さらに、加害者対応の強化に向けた仕組みの検討をしっかりと行うことも重要と考えます。

県のHP　困難問題を抱える女性及びDV被害者への支援　　相談窓口等

令和7年度９月補正予算（商工費・衛生費）

商工費：米国関税措置や日産自動車生産縮小等に対する支援として

☆工業費　神奈川産業振興センター自動車関連事業費補助　7,365千円

宇宙関連産業等の新分野への販路拡大及び業態転換等を支援するため、公益財団法人神奈川産業振興センターが行う経営相談やセミナー等に対して補助する。

☆商工金融費　信用保証事業費補助　932,160千円

原油・原材料高騰等（米国関税措置を含む）の影響を受けた中小企業者等の資金繰りを支援するため、「原油・原材料高騰等対策特別融資」を受ける際の信用保証料について、補助の拡充期間を延長する。

☆商工金融費　中小企業資金会計繰出金　364,398千円

県内小規模企業者等の設備投資意欲の増加に対応するため、公益財団法人神奈川産業振興センターが行う小規模企業者等設備貸与事業の財源として一般会計から中小企業資金会計に繰り出す。

衛生費

☆公衆衛生費　麻しん対策費　22,400千円

麻しんのまん延を防止するため、県が指定する拠点医療機関において、麻しん患者との接触者に対してワクチンを緊急接種できる体制を整備する。

☆医薬費　病院経営緊急支援事業費　2,681,530千円

物価高騰等により経営が悪化している病院を緊急的に支援し、地域の医療提供体制を維持するため、救急病院に対する給付金の支給や、病院の経営相談窓口の設置を行う。

※ 給付金の対象：民間病院及び公立病院等（県立病院を除く）
１床当たり ①救急病院：60千円、②精神科救急病院：10千円

困難な問題を抱える女性のための通所型支援施設「アマヤドリスタジオ」を視察

県では、日常生活又は社会生活上で困難な問題を抱えた女性が、地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、新たに民間支援団体と連携し、通所型支援をスタートしました。これまでどおりの社会生活を送りながら、地域での生活を営むうえで抱える問題に応じた相談支援、日常生活支援、居場所の提供、心理的サポート、自立して生活するための行政手続きの支援等、利用者のニーズに応じた柔軟な支援を受けることができます。

今年度中に3か所での実施を予定、現在２か所で開設されています。

今回、県議会女性活躍議員連盟で視察した「アマヤドリスタジオ」は暖かな雰囲気の中、若年女性が一人で自分と向き合えることも、また仲間と交流できる場でもあり、安心して過ごせる場所です。支援を受けた方が、次の新たな一歩を踏み出すことにつながることを期待します。

「アマヤドリスタジオ」

神奈川県の委託事業

・神奈川県逗子市内（秘匿施設）

・対象者：神奈川県内を主とした１５歳～２９歳の女性

公益社団法人「アマヤドリ」ホームページ

https://www.amayadori-official.net/

ご意見ご要望は

脇（わき）れい子

政務活動事務所

〒251-0026
藤沢市鵠沼東4-6 藤沢奥田ビル203

TEL: 0466-90-4737　FAX: 0466-90-4740
Email: wakireiko.office@gmail.com

経歴
1957年 辻堂生まれ
藤沢市立高砂小、市立湘洋中、
県立平塚江南高校、日本女子大学文学部卒
2011年より藤沢市議会議員 2期
2019年より神奈川県議会議員 現在2期目

現在
厚生常任委員会
社会問題対策特別委員会(副委員長)
予算委員会(理事)